

# 食品化学新聞

2023年(令和5年)3月2日

## キミカ 防災・減災×レジリエンス賞<sup>受</sup>

### 長年のアルギン酸生産体制を評価

キミカはこのほど、減災サステナブル技術協会が主催する「防災・減災×サステナブル大賞2023」において、「防災・減災×レジリエンス賞カンパニー部門 グローバル賞」を受賞した。本賞は、より安全・安心で真にサステナブルな社会の実現に向けた防災・減災への取り組みを評価して授与されたものである。

防災・減災×サステナブル大賞2023は、今回で第3回目の開催となり、全31褒賞41団体が受賞した。キミカは、海藻由来の天然多糖類であるアルギン酸のトップメーカーとして安定供給の責務を果たすため、1980年代、原産地・南米への進出以来、現地民とともに

に海藻資源保全とサプライチェーン強化に取り組んできた。アルギン酸市場における国内シェアは現在90%を誇る。今回、長年にわたる取り組みがレジリエンス性、サステナブル性、さらにはSDGsへの寄与度の側面から総合的かつ客観的に評価され、受賞に至った。

減災サステナブル技術協会は、自然災害の被害を少なくしていくための技術研究・開発、勉強会・シンポジウムなどを行う団体として2018年に設立。防災・減災×サステナブル大賞2023の表彰式は2月、東京ビッグサイトの会場と、リモート参加のハイブリッド形式で開催された。